

令和 5 年度第 4 回岐阜市市政モニター
「ぎふ C I T Y ウォッチャーズ」
調査結果

テーマ

- ・ 岐阜市の多文化共生について

目次

- 1 調査目的
- 2 調査期間
- 3 調査項目
- 4 回答者属性
- 5 結果の概要
- 6 項目別の結果
- 7 今後に向けて

お問い合わせ先

ぎふ魅力づくり推進部 国際課

TEL : 058-214-6125 / MAIL : world@city.gifu.gifu.jp

1 調査目的

- ① 本市の多文化共生に関する意識について調査を実施。
- ② ①の結果を今後の本市における多文化共生を推進する取組みの参考とする。

2 調査期間

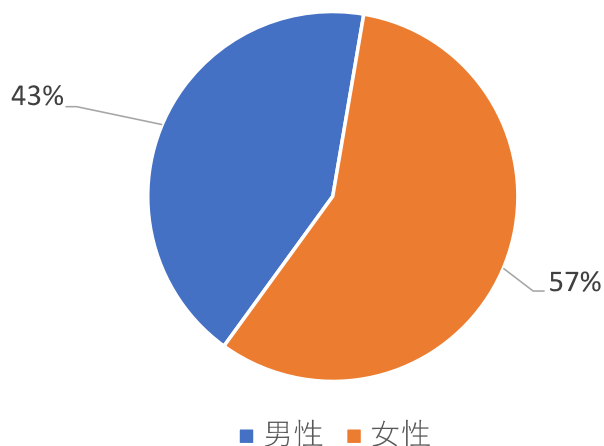
令和5年10月13日(金)～10月27日(金)

3 調査項目

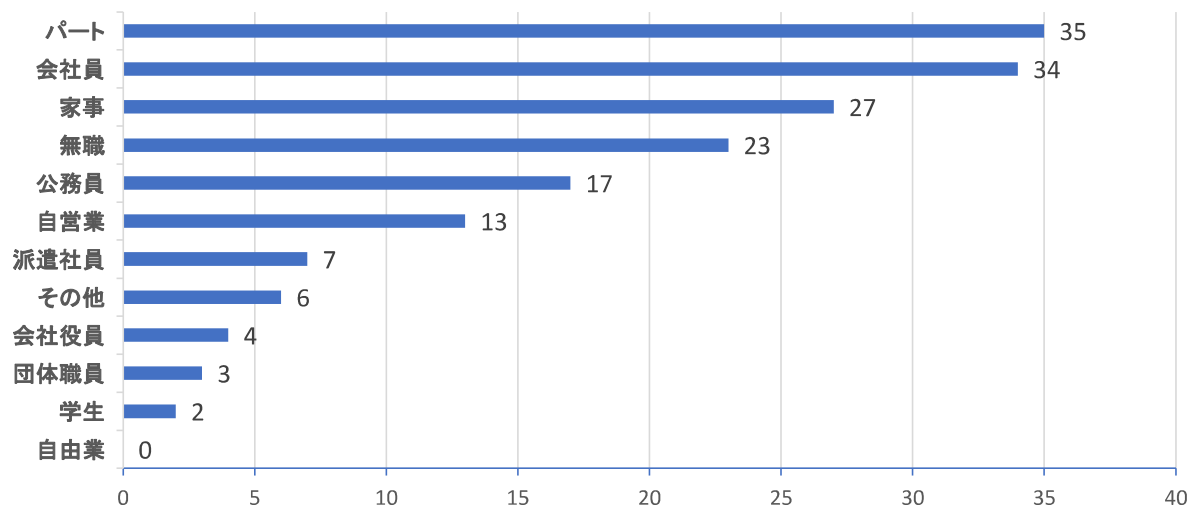
岐阜市の多文化共生について (問1～問10)

4 回答者属性

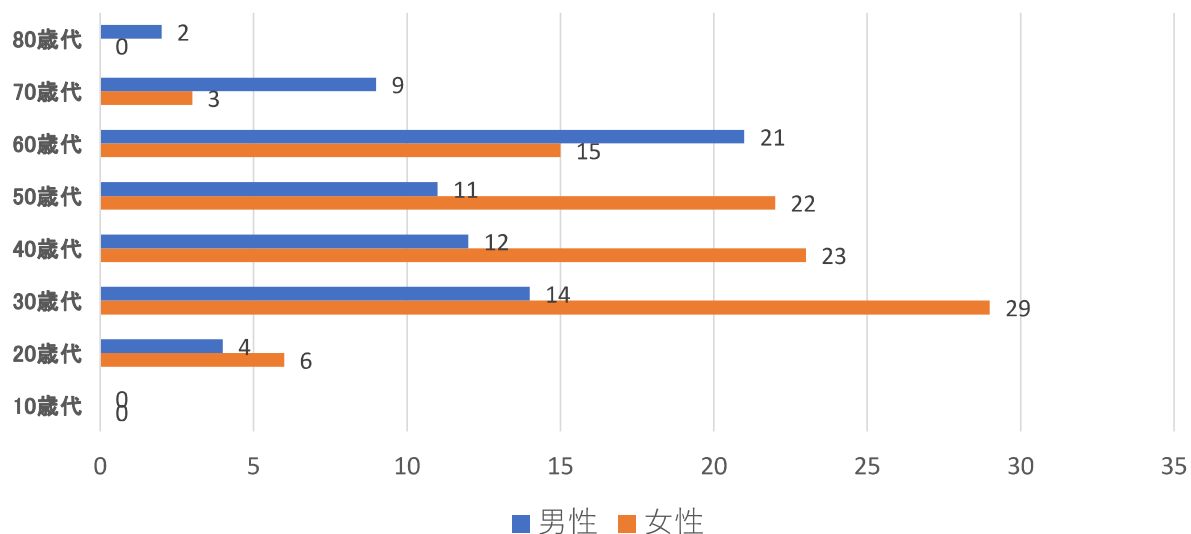
令和5年度市政モニタ－第4回回答者 性別別割合 n=171



令和5年度市政モニタ－第4回回答者 職業別割合 n=171



令和5年度市政モニタ－第4回回答者 年代別割合 n=171



5 結果の概要

岐阜市の多文化共生について（問 1～問 10）

多くのご回答をいただき、ありがとうございました。

今回のアンケートで、「外国人市民と交流する機会はあるか」という質問に8割の方が「ない」と回答されました。5年前にも同じ質問をした際には、7割の方が「ない」と回答され、今回の方が1割も増えていることがわかります。一方で、「今後外国人市民とどの程度関わりたいか」という質問に対しては、「積極的に関わりたい」あるいは「どちらかというに関わりたい」と回答された方が6割となり（この質問の回答結果は、5年前の調査時と同様の割合でした）、外国人市民と交流したいが機会がないという意見が多く聞かれました。

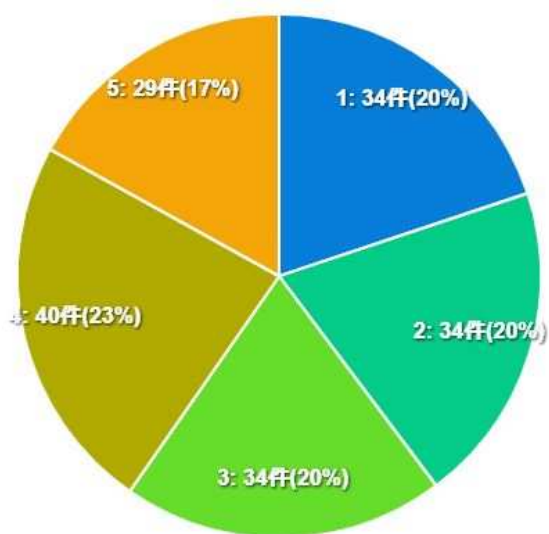
また、「やさしい日本語」は、外国人とのコミュニケーションツールの一つであり、外国人のみならず、高齢者や子ども、障がい者などにも使用できます。また、外国人市民の意識調査（平成30年国際課実施）によると母語以外で情報提供を受けたい言語は、日本語や「やさしい日本語」と回答した割合が5割以上でした。この「やさしい日本語」について、「知っている」方の割合は約3割、「知らない」方の割合は約7割でした。また、2019年度に実施した文化庁の「国語に関する世論調査」でも約3割の人にしか「やさしい日本語」は知られていないという結果も得られています。これらの結果を踏まえ、「やさしい日本語」の周知・啓発が今後必要であることがわかります。

多文化共生社会促進のために、できることについて、自由意見も含めて多くのご意見をいただきました。日本人も外国人もお互いに理解し合うこと、そのために、まずは、挨拶をすることからはじめ、相手の文化や習慣を知ること、そのために交流する場所を作っていくことが重要だという意見が最も多くみられました。

6 項目別の結果

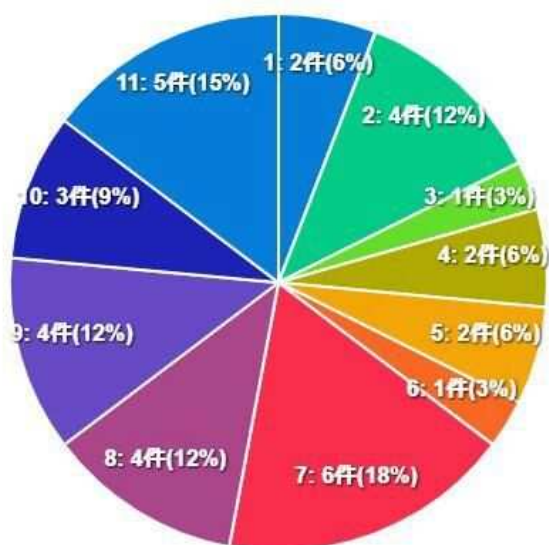
岐阜市の多文化共生について（問1～問10）

質問1. あなたのお住まいのエリア（実際に生活されているエリア）はどちらですか？



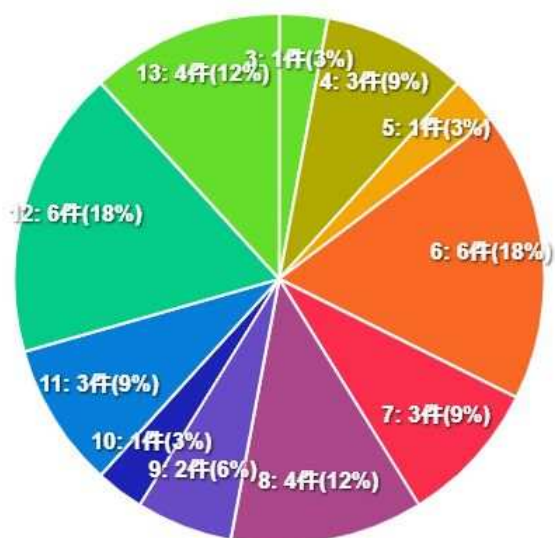
- 1. 中央部（金華、京町、明德、徹明、梅林、白山、華陽、本郷、木之本、加納東、加納西）
- 2. 北西部（網代、黒野、方県、西郷、木田、七郷、合渡、島、早田、城西、則武、鷺山、常磐）
- 3. 北東部（藍川、三輪南、三輪北、岩野田、岩野田北、長良、長良西、長良東）
- 4. 南西部（本荘、三里、市橋、鏡島、鶯、日置、江、柳津、茜部）
- 5. 南東部（岩、芥見、芥見東、芥見南、日野、長森南、長森北、長森西、長森東、厚見）

1. 中央部



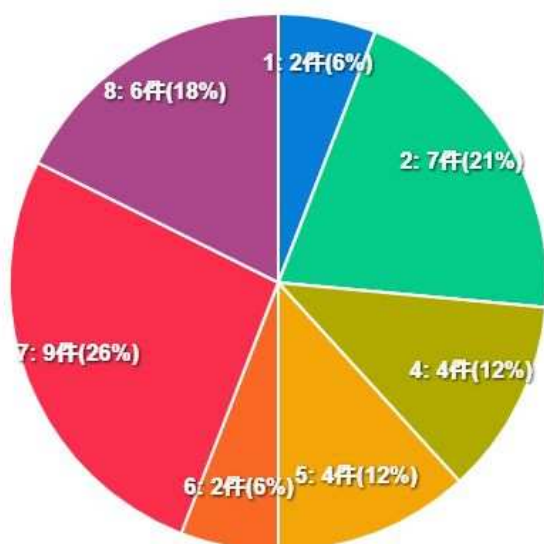
- 1. 金華
- 2. 京町
- 3. 明德
- 4. 徹明
- 5. 梅林
- 6. 白山
- 7. 華陽
- 8. 本郷
- 9. 木之本
- 10. 加納東
- 11. 加納西

2. 北西部



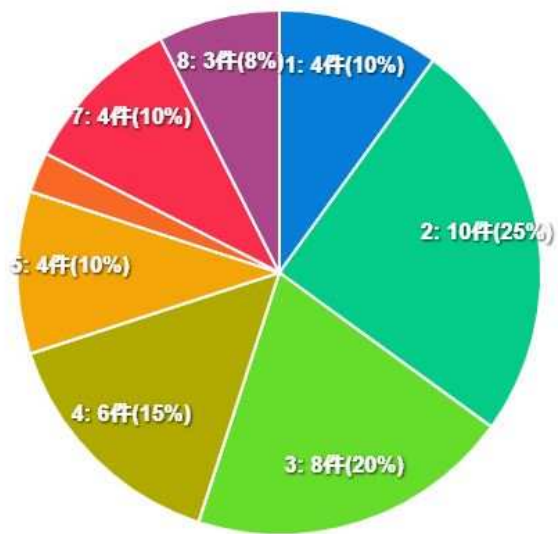
- 1. 網代
- 2. 黒野
- 3. 方県
- 4. 西郷
- 5. 木田
- 6. 七郷
- 7. 合渡
- 8. 島
- 9. 早田
- 10. 城西
- 11. 則武
- 12. 藤山
- 13. 常磐

3. 北東部



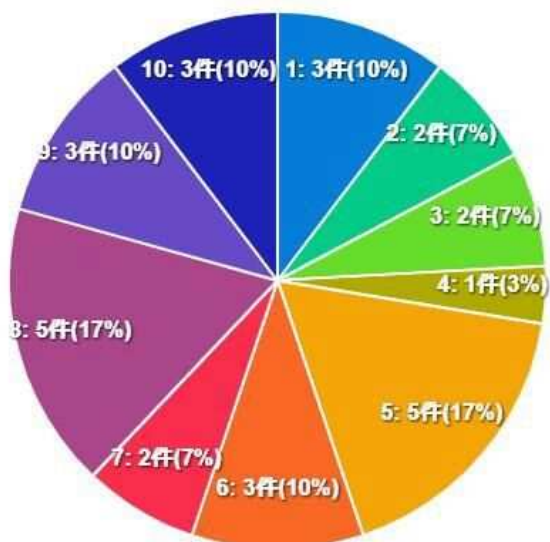
- 1. 藍川
- 2. 三輪南
- 3. 三輪北
- 4. 岩野田
- 5. 岩野田北
- 6. 長良
- 7. 長良西
- 8. 長良東

4. 南西部



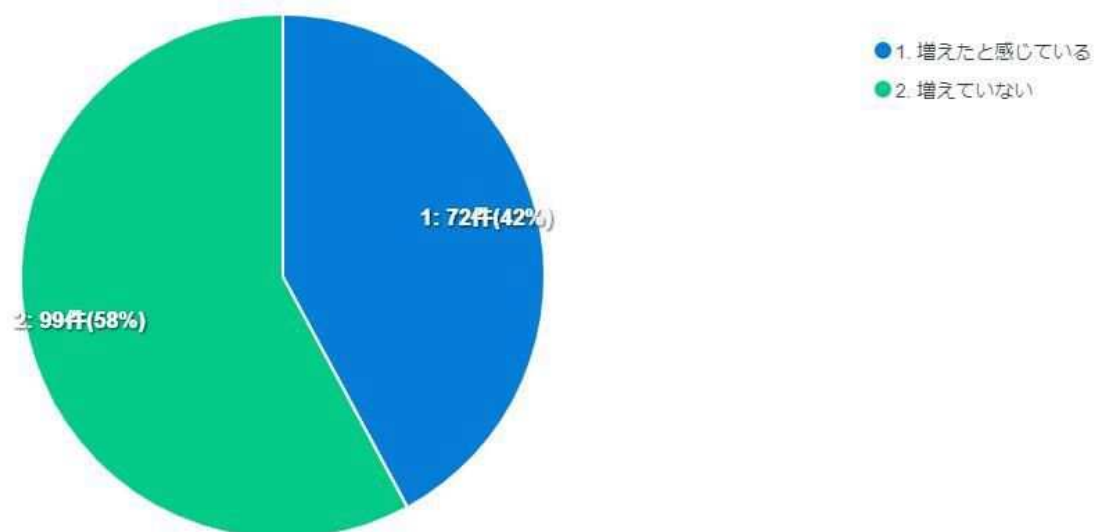
- 1. 本莊
- 2. 三里
- 3. 市橋
- 4. 鏡島
- 5. 鶉
- 6. 日置江
- 7. 柳津
- 8. 茜部

5. 南東部

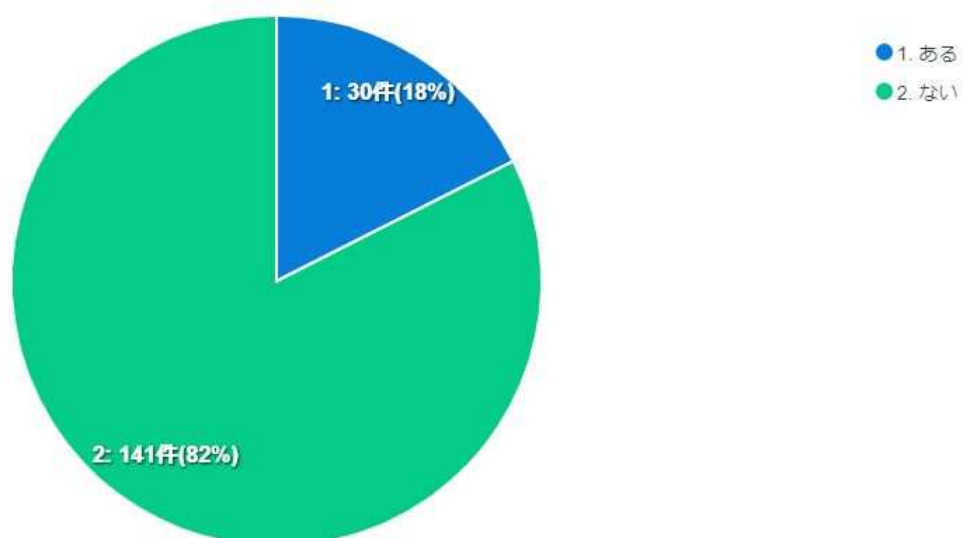


- 1. 岩
- 2. 芥見
- 3. 芥見東
- 4. 芥見南
- 5. 日野
- 6. 長森南
- 7. 長森北
- 8. 長森西
- 9. 長森東
- 10. 厚見

質問2. あなたのお住まいの地域に外国人市民は増えたと感じますか？

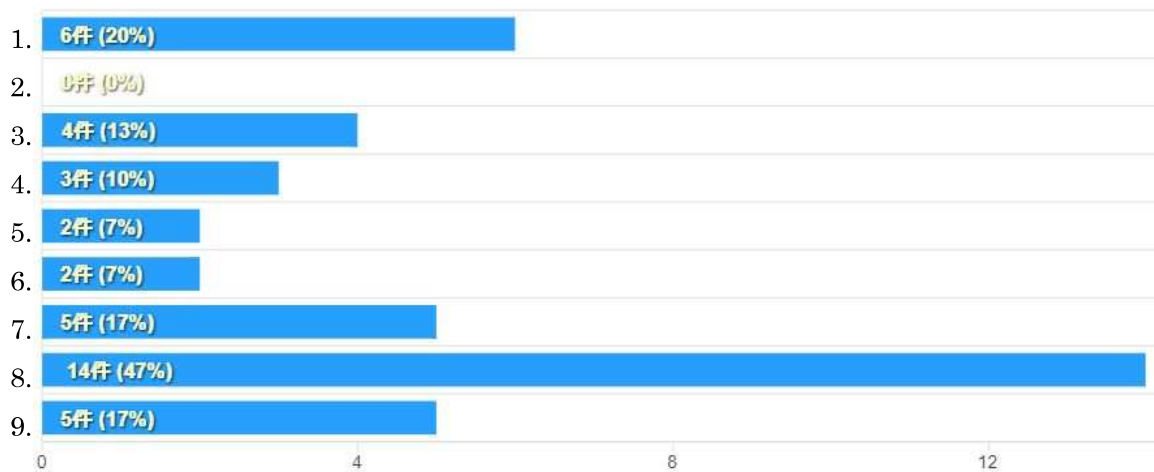


質問3. あなたは、外国人市民と交流する機会がありますか？



質問3-1. 質問3で「ある」と答えた方にお聞きます。どのような交流をしていますか？（複数回答）

1. 一緒に働いている（働いていた）
2. 学校で一緒に勉強している（していた）
3. 友人として交流している
4. 自分または親せきが外国人と結婚して日本に住んでいる（住んでいた）
5. 国際交流グループで一緒に活動している（していた）
6. 子どもの通う学校でのPTA活動などを通じて、一緒に活動している（していた）
7. その他のグループや地域活動（子ども会、自治会など）と一緒に活動している（していた）
8. 外国人とあいさつ程度の交流はある（あった）
9. その他

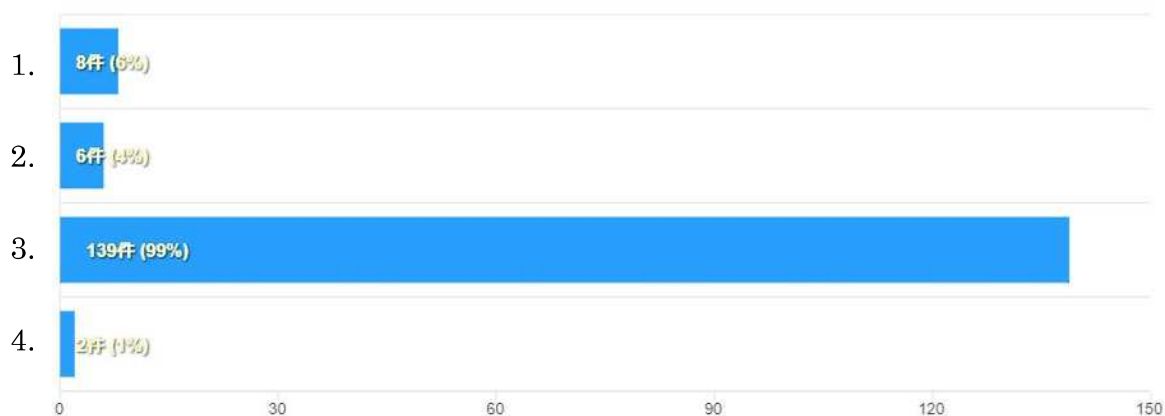


■その他<一部抜粋>

- ・ 市民農園で一緒に中国の人とその家
- ・ 飲食店など
- ・ 幼稚園、小学校、中学と子どもの同級生にいる。コンビニの店員さんは外国の方の方が多く感じます

質問3-2. 質問3で「ない」と答えた方にお聞きします。交流をしない理由は何ですか？（複数回答）

1. 言葉が通じない、意思疎通ができないのではないと思うから
2. 外国人市民と話したことがないので不安
3. 交流する機会がないから
4. その他

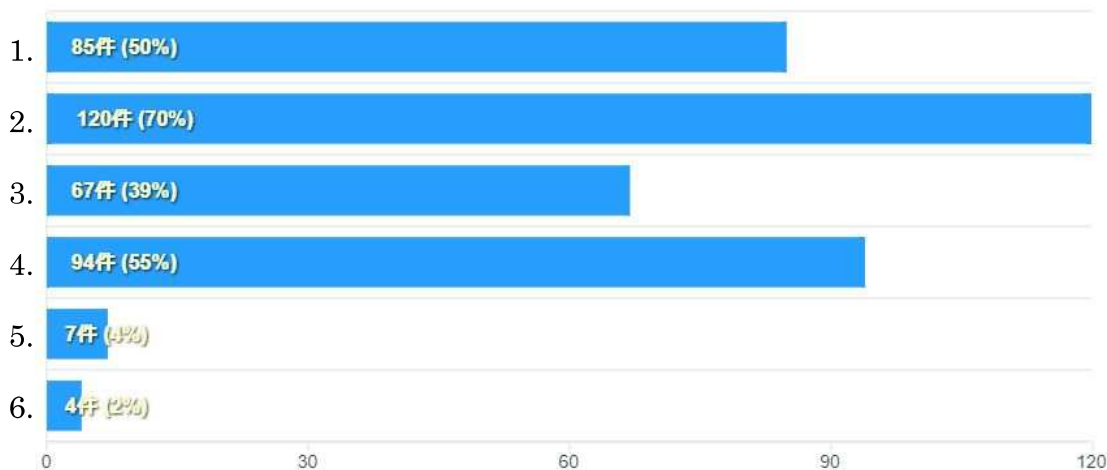


■その他<一部抜粋>

- ・団体で行動し、独特な雰囲気がある
- ・挨拶程度

質問4. 日本人市民と外国人市民との間にトラブルが起きる原因はどこにあると思いますか？（あてはまるものを3つまでお答えください）

1. 日本人が、外国人の生活習慣や文化に理解がないため
2. 外国人が、日本の習慣や決まりを理解していないため
3. お互いに言葉が通じないため
4. お互いにコミュニケーションをとらないため
5. わからない
6. その他

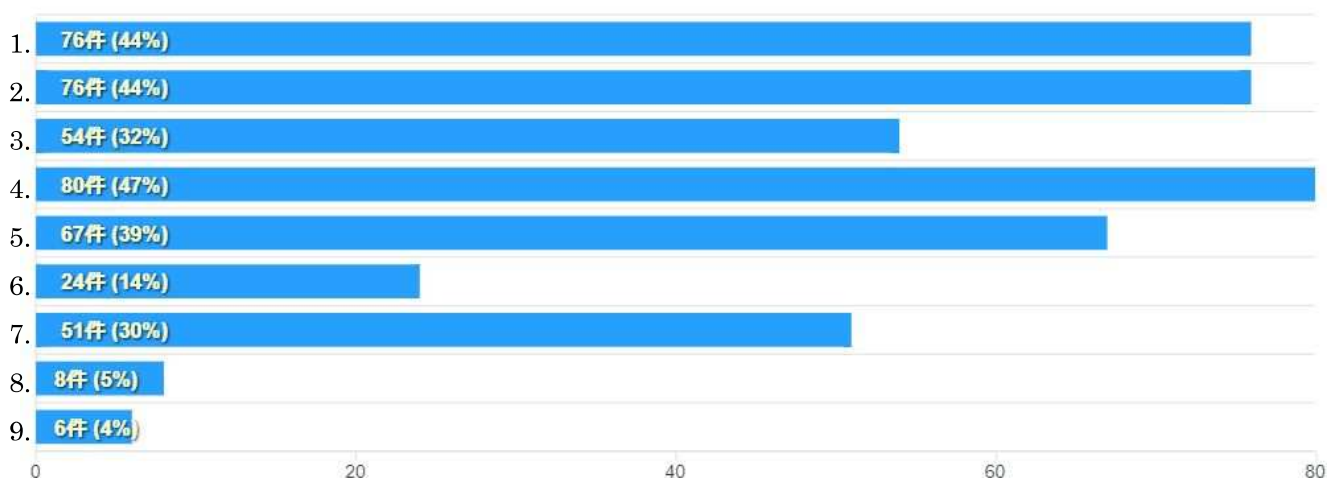


■その他<一部抜粋>

- ・ 国によっては自分の主張を強調し他人の声を聞こうとしない。
- ・ そんなトラブルを近くで見たことがないから
- ・ 外国人が自分達のコミュニティ内でしか話をしないから。自分から日本人コミュニティに自ら進んで参加しないから。日本人に溶け込もうとする姿勢が無いから。自治会に入らないから。

質問5. 岐阜市に新しく外国人が移り住み、外国人市民が増えることについてどう思いますか？（複数回答）

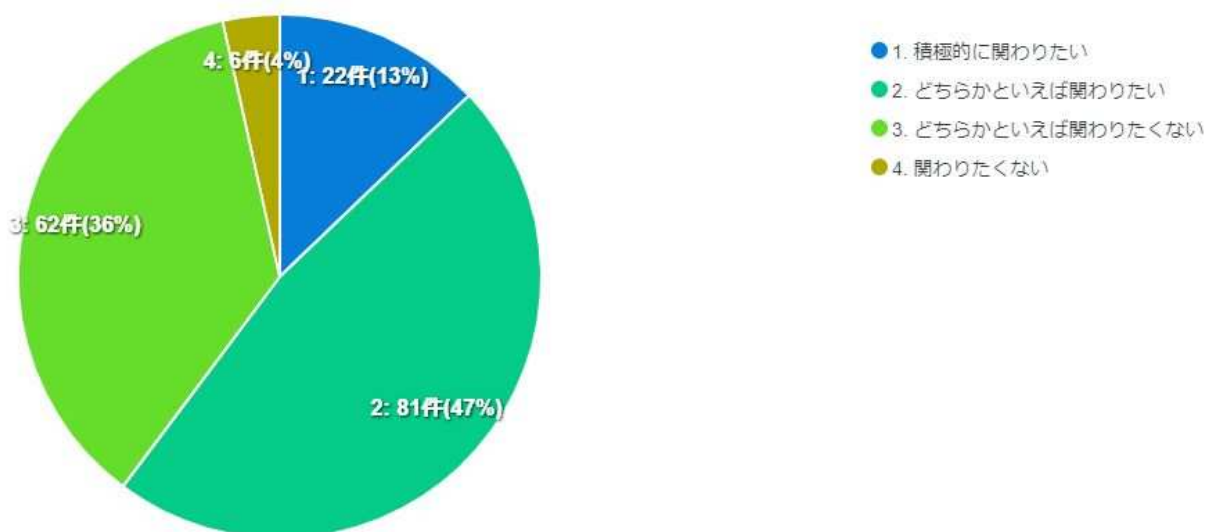
1. 国際交流が進む（日本人市民と外国人市民との交流の機会が増える）
2. 日本人市民が外国の言葉や文化に触れることができる
3. 岐阜市の人口が増え、まちがにぎやかになる
4. 岐阜市の労働力が増え、経済的な発展が期待できる
5. 治安が悪化する
6. 言葉が通じない人が増えて不便になる
7. 外国人市民向けのサービスが必要になり、社会負担が増える
8. よくわからない
9. その他



■その他<一部抜粋>

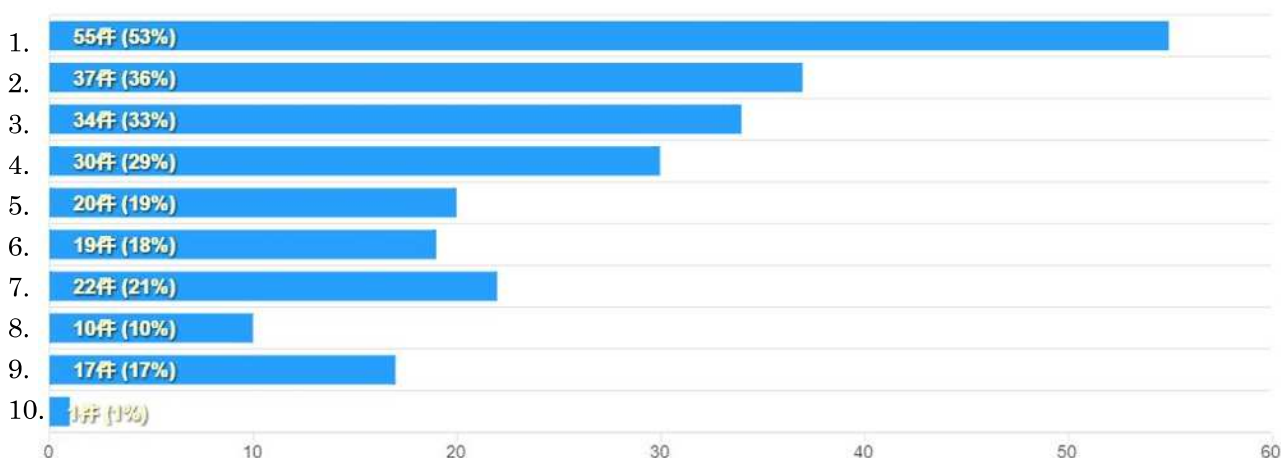
- ・外国人と一口に言っても国によって大きく違い一口に外国人としてくれないところがある。
- ・日本語教師の雇用が増える。子どもが、幼い頃から先入観なく外国人と関われる。
- ・第一に教養や道徳観がある外国人であれば大歓迎、安価な労働力としてしか見てないのであればNOです、それこそ外国人じゃなく日本人を活用しましょう
- ・小さな子ども達から大人の偏見を変えていける
- ・増えることについては良いと思うが、コミュニケーションが無いから外国人がどんな人か分からないという漠然とした不安はある。私も岐阜市出身ではないが、地元とは積極的に関わりを持つとしたおかげで一応名前くらいは覚えてもらったという自負はある。30代で自警団と消防団、40代で体育協会、50代は未だ着任していないが水防団がある。それら組織に残念ながら外国人の姿はない。お宮掃除にも外国人は来ない。もっと積極的に参加して欲しい。来てくれたら話が出来る。

質問6.あなたは今後外国人市民とどの程度関わりたいですか？



質問6-1. 質問6で「積極的に関わりたい」もしくは「どちらかといえば関わりたい」と答えた方にお聞きします。どのように外国人市民と関わりたいですか？（あてはまるものを3つまでお答えください）

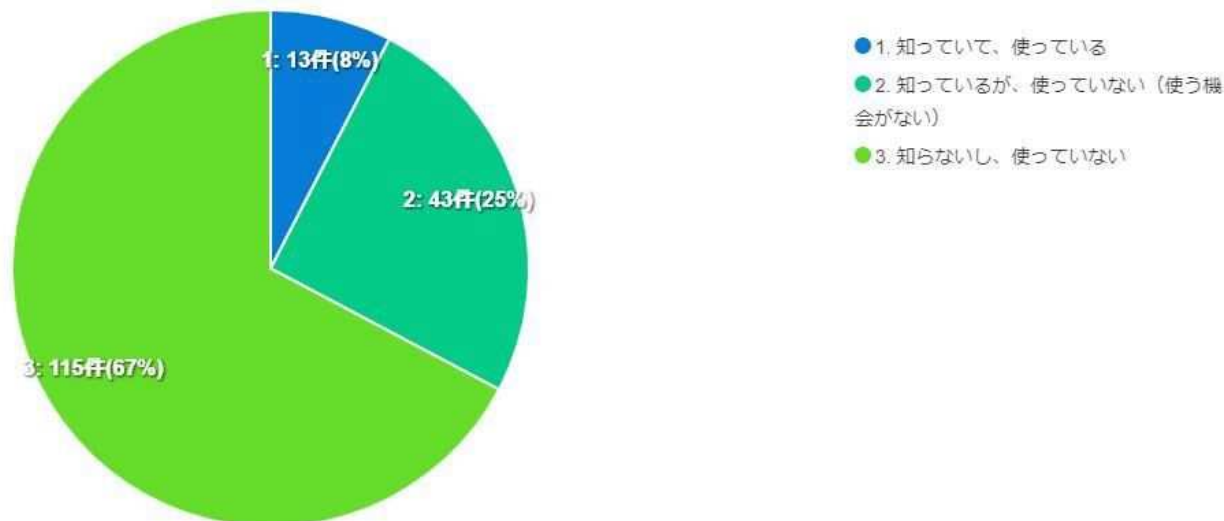
1. 外国の言葉や文化に触れる活動
2. 地域の活動（自治会の祭りや清掃 など）
3. 趣味のグループやサークル活動
4. 行政などが行う国際交流・多文化共生のイベント
5. 同じ職場・学校などでの交流
6. 災害時や緊急のとき
7. 友人・家族との私的な交流
8. 子どもの学校を通じた親同士の交流
9. 外国人市民への支援活動（日本語教室など）
10. その他



■その他<一部抜粋>

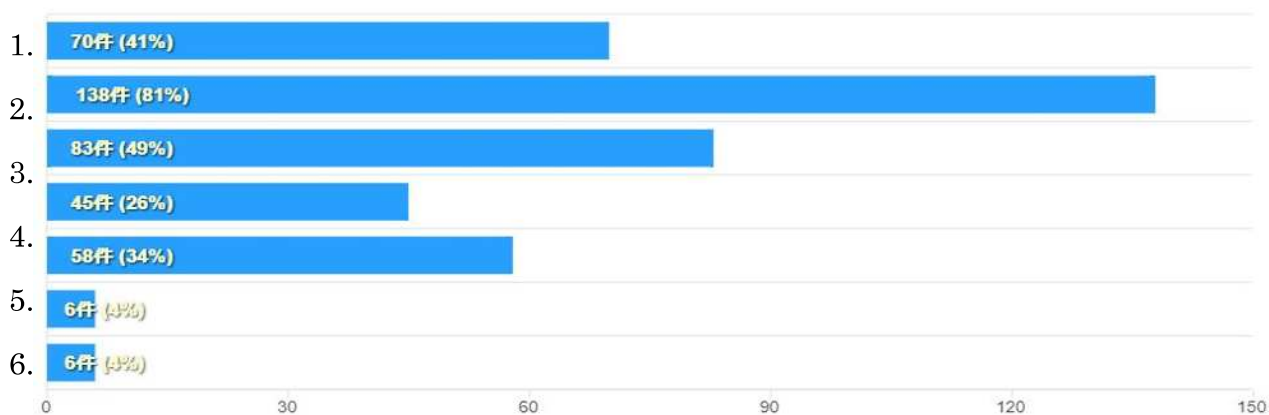
- ・例えば、地元祭りとかで、外国人が自国の料理などを物販する出店等を出店して地域と交流する。

質問7. 「やさしい日本語」※を知っていますか？また、使っていますか？



質問8. 日本人市民と色々な国の人の文化を認め合える多文化共生社会促進のために、外国人市民ができることは何だと思えますか？（複数回答）

1. 自治会など地域社会への参画
2. 日本文化や習慣を理解し、マナーを守る
3. 日本人市民と交流する
4. 外国人市民のマナーの悪い人を注意する
5. 日本人市民に母国の文化や習慣の理解を求める
6. 特に何も必要ない

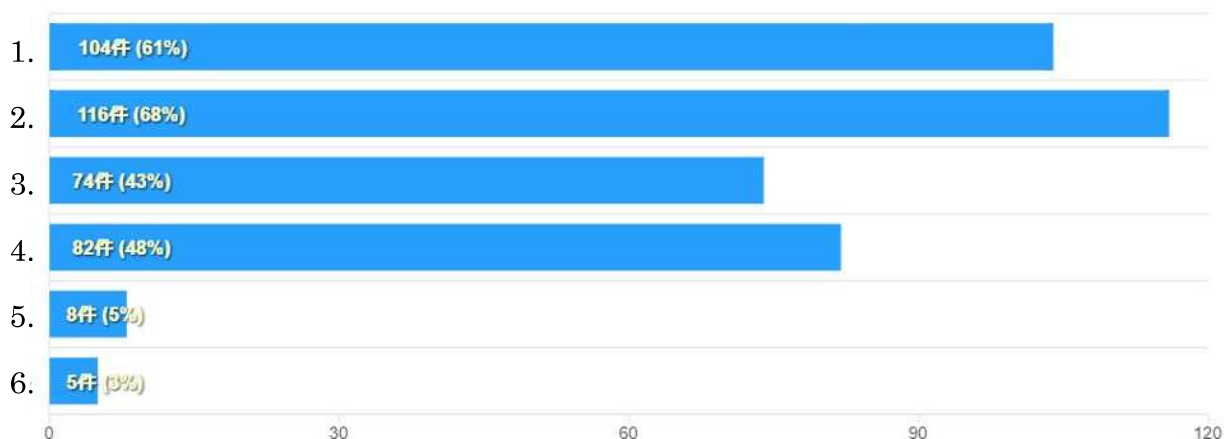


■その他<一部抜粋>

- ・注意とかでなく、北風と太陽のように、お互い温かく理解し合う文化が作られるのが理想だと思います。現実には難しいですが。
- ・自国の文化を日本人に強制しない。日本人に迷惑をかけないようにすること
- ・日本の憲法や法律に従う意志が必要です、母国文化を紹介するのは良い事ですが、ダメなものはダメと毅然な態度が必要です
- ・日本語を勉強する
- ・マナーを注意するなら、外国人側から日本人に対しても対等に聞いた方が良いかなと思いました
- ・とにかく地域に溶け込んで欲しい。

質問9. 多文化共生社会促進のため日本人市民ができることは何ですか？（複数回答）

1. 外国人市民が地域コミュニティに参加しやすいよう声をかける
2. 外国人市民を差別しない
3. 外国の言葉や文化、習慣を勉強する
4. 日本で生活するルールを外国人市民が守るように呼びかける
5. 特に何も必要ない
6. その他



■その他<一部抜粋>

- ・日本のルールを知らない人々が多数と思うので、まずは転入手続きの際に、やさしい日本語で理解してもらうのが、第一歩だと思う。
- ・そこまで外国人を特別扱いする必要はないかと思います。海外に行って、このように日本人を外国が多文化共生社会促進として取り組んでくれるかと思ったら、そんなことないし、郷には郷に従えというように日本市民がわざわざ取り組むことではないと思う。その相手の文化を受け入れたり、個人として尊重することは大事だと思います。
- ・地域で排除しない。

質問 10. これまでにお聞きしたこと以外に、岐阜市で外国人市民と日本人市民がともに協力しあい、誰からも愛されるまちを作っていくためにできること、やらなければならないことなど自由にご意見をお聞かせください。〈一部抜粋〉

(挨拶・声掛け)

- ・気軽に挨拶ができるように声をかけあうこと
- ・今住んでいる地域ではたまにアジア系の外国人が自転車にのって道路を走っているのを見かけるくらいだけではあるが、「こんにちは」と挨拶をすると向こうも「コンニチワ」と返してくれる。どこの地域でも日本人同士でも外国人でも挨拶をして返すということをやればそれだけでも交流になるしお互いにお互いを受け入れる心を作りやすいと思う。
- ・積極的に話しかけたりすることはハードルが高いので、まずは挨拶。昔より近所間の挨拶や交流は、日本人同士でさえ減ってきているので。

(相互理解)

- ・外国人市民、日本人市民もお互いに文化、慣習を理解するとともに、外国人市民は地域コミュニティ、市、県、国などのルールを守ることが必要である。また、日本人市民も時代にあった地域コミュニティや市のルールを変更や運用を行う必要がある。施策を行う際には、高齢者や子どもだけでなく、外国人市民と日本人市民がお互いに不安が生じないようにすることが求められると思う。
- ・外国人との交流は今後必要性が増すことが間違いなく、いかに言葉や文化の壁を克服するかにかかっていると思います。互いに理解しあおうとする姿勢が最も必要だと思います。
- ・お互いの習慣や風習を偏見なく理解する。
- ・相手の言語と国柄の性質を理解したい。仕事で接することがあり、相手の方は悪気はないかもしれないだろうけど、言葉がキツく感じられたりする事も（日本語難しいでしょうから）。こちらも相手の国の事を知る努力をしなければと思うのですが、なかなか（忙しい）勉強しようとか行動に移せてはいないからダメですね。
- ・外国人との関係だけでなく、日本人同士も互いに理解し、安心、安全な社会でないと誰からも愛されるまちにはなっていないと思う。
- ・お互いに押し付けるのではなく認め合い、助け合えるようにしたい。やさしい日本語が広がるとよい。

(市の取組)

- ・岐阜市に住んでいる外国の方について知るための冊子が欲しい。
- ・何か国かの外国語の挨拶や声かけの仕方をマンガや冊子などで紹介するのもいいと思います。耳や目で外国語を聞く機会が増えると、外国人の方が身近に感じやすいかも。
- ・「多文化共生」についての啓発、PR活動。異文化交流に関するイベントを行うことで、外国人市民と日本人市民がふれあうことができる。「多文化共生」についての出前講座、コミセンで研修会を開催
- ・外国人市民との交流を増やすことは大事ですが、現在、交流はしていないし機会がない。外国人市民に地域のルール、マナーを理解して貰うために外国人講習会を設けることが必要。コミュニケーションの場をつくることで、おのずと外国人市民の文化・風習も理解できるようになるのでは。

- ・習慣や言語の違いが最も大きくそこで行き違いが生じ誤解が生じる。元々、日本人は外国人を苦手としている（子どもは例外）ので、そのままでは日本人から話し掛ける事は少ないと思われる。従って、地元で外国人が居住する場合は行政の積極的な言語や習慣の説明が求められる。
- ・外国語での日常生活マナー、順守すべきルールの伝達を冊子配布、SNS 利用など工夫する。外国人の国別の習慣、風習、行事などを市民に伝わるよう工夫する。【なぜたくさん集まっているの？】とかが分かるようにするなど。
- ・1. 良い街づくりのためには、日常生活での気づき・改善点等、意見を出せる仕組みがあると良いですね。外国人を問わず、だれからも発信しやすくしてほしい。2. また、市民が出した意見を、行政側が検討状況も含めて見える化&発信してほしい。
- ・公教育で異文化理解のための仕組みを作る。岐阜市が異文化理解のためのイベント等を開催する。
- ・相互に理解しようとする意識が芽生えるようなPRが必要と考えます。（広報で特集を組む、X などによる発信など全世代が目に触れるように）また、外国人といっても、国の成り立ち、背景、現状、宗教、食生活等さまざまであることを市民も理解する必要がある、知ろうとするきっかけになるイベントや資料提供をお願いしたいです。併せてその後の経過報告なども知ることができると良いと思います。
- ・市職員が、何階かわからない外国の方に案内係以外も積極的な声かけをすべき、そもそも市職員が全体的に無愛想。窓口などは外部委託のためまだいいとは思いますが。市の施策の重要度的にもあまり高くないと感じる。
- ・看板の外国語表記を増やす
- ・主要観光スポットの多言語音声案内
- ・交通ルールを守らない外国人をよく見かけるので、日本の色々なルールを、引っ越してきて住民登録をした時に役所がレクチャーすると良いと思う。
- ・岐阜市が雇用機会を提供することも必要。公務員自らが傍観者ではなく積極的に汗を流す姿が見たいですね。交流の機会づくりも民間だけに頼らず、市役所が積極的に機会創出をする必要もあります。岐阜市全体で交流の機会をつくれれば外国の方との交流の機会も増えて、岐阜市を愛してくれると思います。

(交流・イベント等)

- ・日本の慣習を教えてあげる。地域でのコミュニケーションの機会を増やし、ゴミ出しのルール等について教えてあげる。
- ・岐阜市民はあまり観光都市ではないので外国の人に関わる機会がない為慣れてないので敬遠してしまいがちです。慣れる交流会が必要だと思う。
- ・自治会や雇い主などが、中心になって、地域の行事、文化祭、運動会、クリーン清掃、神社の掃除、左義長、お日待ち等積極的に参加していただき、紹介する機会を作ってもらえるといいです。
- ・お互いの文化を理解しあえて年齢に関係なく気軽に参加出来るイベントをもっと増やしていく。
- ・一緒にまちづくりをしていくために、アイデアを交換できる場があると良いと思う。
- ・岐阜に愛着を持ってもらうことは大切だが、過剰に「へりくだって」愛されようとするのは反対。対等に理解しあうような施策とか場は必要だと思う。例えば、公民館活動で地域交流をするような機会があれば、参加してみたい。
- ・他国へのポジティブなイメージを持てる人が増えるように、とっかかりとして食文化フェアなどの楽しそうな企画があったら、私も足を運んでみたいと思う。

- ・我が家はまだ子どもが未就学児でなかなか外国の方と触れ合う機会がありません。色々な国の方達と触れ合い交流したいのですが、どこで何をやっているのか分かりません。また小さい子ども連れでも参加できるものが少ない気がします。色々な人種や国などがあるという事を知れる機会が増えるといいなと思います。またお互いの国を知るために無料の講座や、交流会などがあるといいと思いました。
- ・外国人を雇用している企業が市民行事、自治会行事に参加してもらいたい。
- ・キャッシュレス決済支援（30パーセント還元など）を外国食・外国文化限定で行う等、市民が外国文化に触れ合う仕掛け。
- ・外国人コミュニティと地元自治会等と交流させる機会を作って欲しい。岐阜市コミュニティ良いので、外国人コミュニティと地元自治会や組織と交流する機会をもっと積極的に開催する。

(学校、教育)

- ・外国人の市民としての生活の安定のために、より多くの人材が関わる必要がある。外国人の不満足な生活が、日本、岐阜市への生活の適応を阻害していると思われるので、学校教育、生活のサポートを公的にも、地域の住民の中でもさらに進めていかなければならないと感じる。
- ・学校などでも、外国の子どもが増えていると思っています。その子達が、学校での生活をしやすいような何かを考えてほしいと思います。
- ・外国人の方に偏見を持たないように小中学校の頃から積極的に教育に取り入れると良いと思います。
- ・海外の文化や考え方など、学校教育の場でもっと触れる機会が必要だと思う。
- ・子どもは勿論だが、親の日本語『話す書く聞く』を無料で教え学ぶことのできる地域密着型の場所が必要です。日本語ができないだけで能力が劣っているとされる子どもたちの救済が必要だと感じています。
- ・外国人にとっては日本語が使えるようになるハードルが非常に高い場合があると思います。それを支援する日本語教室の場の提供を進めることが必要かと思います。

(その他)

- ・各地域にコミュニケーターを設置すること。
- ・気持ちに余裕を持って、優しく対応して、仲良くしていけるといいなと思います。
- ・文化が違うので共存は無理だと思う。
- ・外国の方の暮らしやすい施設(スーパー、レストラン等)を増やす
- ・多様性を取り入れ、岐阜市をグローバル社会にし、経済・文化の発展に繋げる。
- ・マナーの悪い外国の方をよくお見かけします。文化の違いもあるかもしれませんが、最低限のマナーは守るべきと考えます。
- ・不法滞在をきっちり取り締まる。
- ・呼び入れる事を望んでいない住民がいる事にも配慮して頂き、呼び入れたい側がしっかりと日本文化や習慣を教えて頂きたい。
- ・外国人の中には、治安を悪化させるような人が日本人よりも多くいると思っています。そういう事を払拭できれば、異国での不自由を軽減させてあげることに協力的になれるのでは？
- ・住んでいる地域のルール、交通規制ルール、就業ルールなど、守らなければならないことを、誰が見てもわかるようにする

- ・以前、無資格ではあるが、日本語教師のボランティアをしていた。あの仕事は、給与を出してほしい。外国人自身、英語が分からず、ベトナム語などしか分からない人も居た。英語以外の様々な言語から日本語へ変換し、理解してもらうのは大変だった。それに、人によって「生活に必要な日本語を学びたい(これはゴミ出し等のマナー向上にもつながると思う)」や「仕事に必要な日本語を学びたい」など、様々なニーズに対応できるスキルが求められる。子どもに関しても同様で、日本語が分からないと、イジメのキッカケにもなりやすいので、言語教育に力を入れて頂けると嬉しい。
- ・自分は外国語が出来ないのでスマホアプリでやりとりしている。逆もまたしかりで、スマホアプリを使ったコミュニケーション方法を市でもアピールすると良いのでは？
- ・ゴミ出しのルール守るようねばり強く啓発
- ・自治会への参加を要請する
- ・技能実習生みたいな人達をよく見かけるが、適切な環境と、適切な賃金なのか。気持ち良く働いてもらいたい。
- ・日本人も外国人もわざわざ交流イベントに出向く時間に余裕のある人は少ないと感じます。双方の自然な生活の中に日本人への理解、外国人への理解を深められる方法を考えていかなければならないと思います。子ども達が学校での出会い遊びを通して自然に仲良くしている姿を大人が見習わなければならない。
- ・防犯対策の強化。特に監視カメラが全く不足している。
- ・技能実習生の場合は、組合も雇う会社も、まともな会社でないかと許可しないようにしてほしい。せっかく日本に働きに来てくれる彼らに、嫌な思いをしてもらいたくない。留学生の場合、特に日本のお金で留学している方は、日本の為に努めていただきたい。日本人は、外国人だからと言って特別扱いするのではなく、普通に接すればよいと思う。
- ・相互理解のためには、日本人からの理解のみでなく、外国籍の人に市政のルールを理解していただくことも大切なのではないかと思います。ただ、外国籍の人に自発的な情報収集を促すのはハードルが高いと思うので、多言語に対応したLINE配信など、彼らが受け身で受け取れる情報発信が必要なのではないかと思います。
- ・言葉が通じにくいために不安や偏見がある。同じ地域に住む者としてお互いに安心して暮らしたい。広報に、岐阜市の人口総数〇人の内訳で、外国人住民の数を記してほしい。国籍も知りたい。日常でそういう情報を目にするところから、岐阜市に住む外国人について興味を持つキッカケになると思う。今はキッカケすら無い。公民館や青少年会館の催しで、地域に住む外国人と地域の小中学生の国際交流の機会を作してほしい。
- ・このアンケートは、外国の人の理解が浅い前提の印象を受けました。まずはそのような聞き方を日本人にあまりしない方がいいのかなと思いました。と言っても母国を離れて来ているわけですから当然だと思いますが、わからない事は当然だと日本人も思い、なるべく対等に接していけるのがいいなと思いました。マナーの悪さを言い合うのも必要ですが、同じように良さを言い合う機会もあるといいなと思いました。マナーが悪いのではなく知らないのだという事を前提で日本人が接していけるといいのかなと思いました。
- ・多文化共生社会の取組を通じて、岐阜市の魅力や活気の創生を図る。(岐阜高島屋閉店のニュースを知り、市と市民がもっと一体となり、市の活気や魅力を高めていく必要性を真剣に考えるべき。市民の利便性や観光面からも、市内路面電車の復活も望みたい。)
- ・特になし
- ・よく分からない。

7 今後に向けて

岐阜市の多文化共生について（問 1～問 10）

国際課では、多文化共生社会の実現に向けて、岐阜市多文化共生推進基本計画に基づき、様々な取組を行ってきました。外国人市民と日本人市民との交流については、国際交流・多文化共生の拠点として、「みんなの森 ぎふメディアコスモス」に「多文化共生プラザ」を設置し、イベント等を実施する等、交流の場の創出を図っています。

このような中、今回の調査において「外国人市民と交流する機会があるか」という質問に対し、「機会はない」と回答した割合が5年前の調査に比べて、5ポイント増加しました（77%→82%）。新型コロナウイルス感染症の影響で、交流の機会が減少したことも要因として考えられますが、外国人市民の人口は新型コロナウイルス感染症の水際対策の終了後、増加を続け、現在では1万人を超えていることから、改めて、外国人市民を地域社会の一員として捉え、交流を進めていくことが重要であると認識いたしました。

今回の調査結果を踏まえ、引き続き、現岐阜市多文化共生推進基本計画に基づき「誰もがお互いに多様性を理解し合い、ともに新たな魅力を創造するまち」を目指していくとともに、2024年度に行う次期基本計画策定にも活用してまいります。

お問い合わせ先

ぎふ魅力づくり推進部 国際課

TEL : 058-214-6125 / MAIL : world@city.gifu.gifu.jp